

共 架 工 事 基 準（下部機器）

1 適用範囲

この共架工事基準（下部機器）は、中部電力パワーグリッド株式会社（以下、「当社」といいます。）の電柱に、当社所定の共架契約約款の定めに従うことを確約した共架者が所有する下部機器を共架する場合の工事に適用するものとします。

2 関係法令の遵守

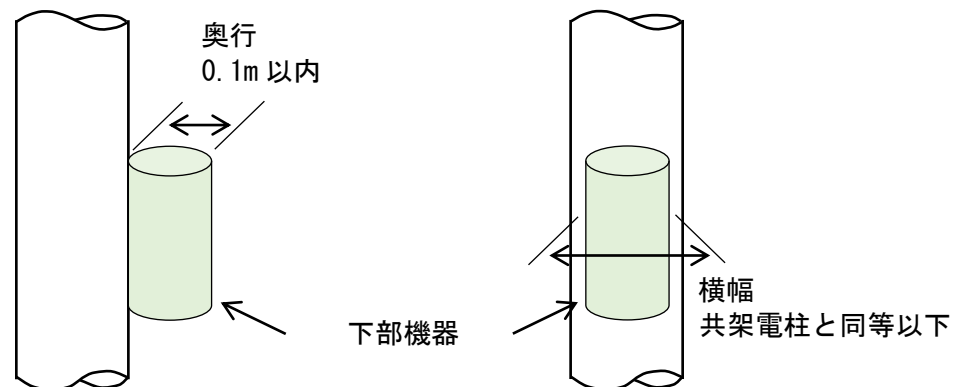
共架者は、共架工事の実施にあたり、この工事基準のほか電気設備に関する技術基準を定める省令、電気設備の技術基準の解釈（以下、「電技解釈」といいます。）、有線電気通信設備令、有線電気通信設備令施行規則およびその他関係法令を遵守するものとします。

3 共架物件

（1）共架物件の種類

共架物件は、センサー機器等およびこれらの付属設備とします。なお、共架物件の大きさは、施設時における共架電柱表面からの奥行が0.1m以内となり、横幅は共架電柱と同等以下であることとします（図1）。

発音、発光（機器制御用の電源ランプは除きます）、発臭する機器など、公序良俗に反する機器は共架応諾不可とします。



〔図1〕

（2）共架物件の設置数

4（離隔距離）、5（昇柱空間の確保）および6（共架物件の施設方法）の規定を満足する場合、共架電柱1本あたりに共架できる共架物件の台数は制限しないものとします。

4 離隔距離

共架者は、共架者が施設する共架物件と、当社所有の特別高圧配電線、高圧線、低圧線、変圧器および通信線に対して、次の離隔距離を確保するものとします。

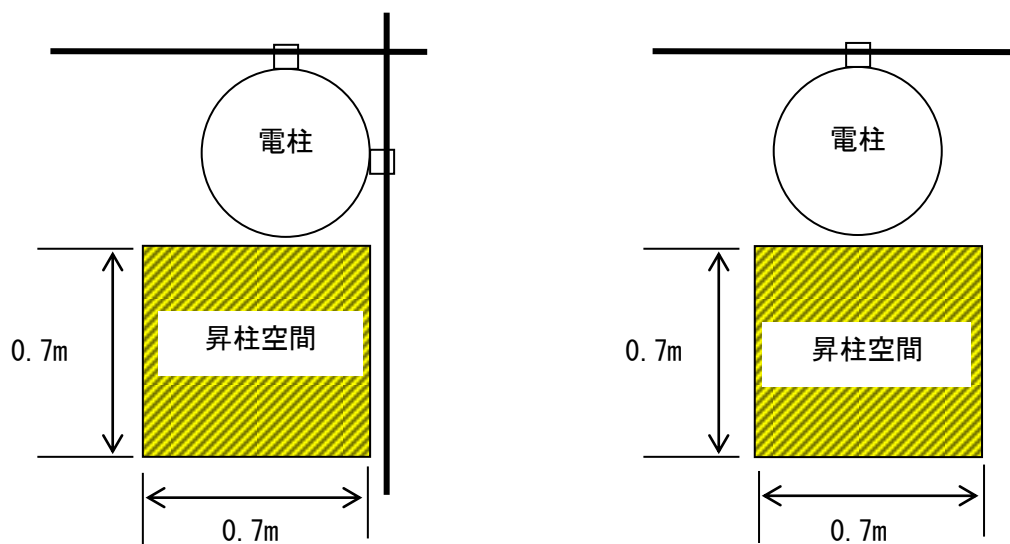
当社の設備等		当社所有の設備が施設された共架電柱の取付点
特別高圧配電線		2. 0 m以上
高圧線	絶縁電線	1. 0 m以上
	ケーブル	0. 5 m以上
低圧線	絶縁電線	0. 6 m以上
	ケーブル・高圧絶縁電線	0. 3 m以上
低 圧 引込線	絶縁電線	0. 3 m以上
	ケーブル・高圧絶縁電線	0. 1 5 m以上
	特別高圧絶縁電線	
変圧器底部		0. 6 m以上
通信線		0. 3 m以上

(注1) 本表は、共架者の承諾を得た場合の離隔距離を示す。

5 昇柱空間の確保

共架者は、共架物件の施設において、次に規定する昇柱空間を確保するものとします。

- ① 底辺を一边0. 7 mの正方形とし、共架電柱に沿って地表面から共架者の最上位の共架位置までの直方体の昇柱空間（図2参照）を確保すること。
- ② ①の昇柱空間内には垂直配線を施設しないこと。ただし、保護管その他の被覆により保護され、かつ共架電柱の表面に密着させて取り付ける場合はこの限りではない。

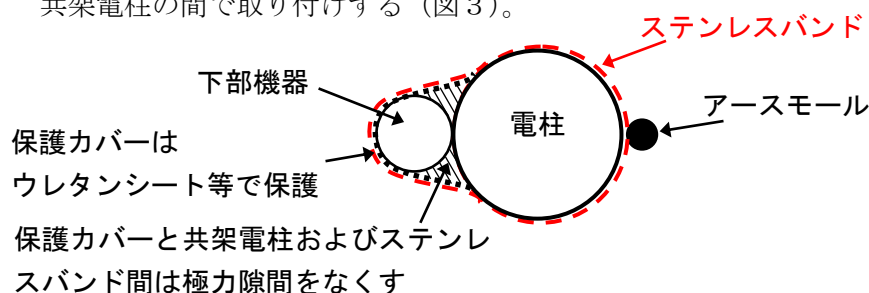


[図2]

6 共架物件の施設方法

共架電柱における共架物件の施設方法は、次によるものとします。

- ① 共架物件は、以下の共架電柱には施設できないものとする。
 - ・ 自動制御機器柱
 - ・ 継電器柱
 - ・ スマートメーター用中継装置柱
 - ・ 末端センサ柱
 - ・ ケーブル立ち上がり柱
 - ・ S V R 等の電圧調整器柱
 - ・ その他当社の指示する柱
- ② 共架物件は、4（離隔距離）および5（昇柱空間の確保）を満足し、かつ電柱防護板、他の共架設備および電柱広告等に支障を及ぼさない位置に施設する。
- ③ 共架物件は、地上高1.5 m以下の範囲内に道路および歩道と並行となるように施設する。
- ④ 共架物件は、共架電柱表面から0.1 m以下の範囲内に施設する。
- ⑤ 共架物件は、公衆保安を確保するよう保護カバー（なめらかでクッション性があり接触しても危険性のない形状）等に収納のうえステンレスバンドにより共架電柱と密着させ堅ろうに施設する。ステンレスバンドは、共架電柱の銘板を隠さないよう施設するとともに、アースモールが施設されている場合はアースモールと共架電柱の間で取り付けする（図3）。



〔図3〕

- ⑥ 共架物件の工事施工においては、材料、工具類の落下防止措置を確実に実施する。
- ⑦ 共架物件への電源供給は不可とし、電池駆動とする。

7 垂直配線の施設

下部機器と中間部機器を接続するための垂直配線を施設する場合、共架者は、原則として当社の垂直配線のある共架電柱に共架者の垂直配線を施設してはならないものとします。ただし、施設形態上やむを得ない場合であって、あらかじめ当社の承認を受けときは、当社の垂直配線と共架電柱を挟んだ対向側に共架者の垂直配線を施設するものとします。

共架者の垂直配線は、保護管その他の被覆により保護されかつ共架電柱の表面に密着して取り付け、当社の足場ボルトの安全な使用を妨げないように足場ボルトから7 cm以上離して施設するものとします。なお、地上2.0 m以下の範囲内は、保護管その他の被覆により保護するものとし、保護管その他の被覆に接続部を設けないこととします。

8 接地工事

共架者の接地線と当社の接地線とは共用しないこととします。

9 標 識

共架者は、下部機器に、共架者の名称またはマークの入った識別可能な標識を取り付けるものとします。なお、当該標識は、十分な視認性および耐候性を有するものとします。

10 安全確保

共架者は、共架工事の施工にあたって、公衆保安を確保するとともに、当社の設備および他の通信設備等に損傷を与えないこととします。

以 上